

2019年12月期 第2四半期 決算説明会

2019年 8月 6日
株式会社SUMCO
(証券コード:3436)
(LEI:353800SUSRUOM0V6KU92)

見通しに関する注意事項

本資料は一般の株主及び投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、いかなる法域においても、当社が発行する証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報及び将来推定は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報及び将来推定と大きく異なる可能性があります。



- 総括・市場環境
- 2019年度第2四半期 決算概要(連結)
 1. 2019年度第2四半期 業績
 2. 営業利益増減分析
 3. バランス・シート
 4. キャッシュ・フロー
- 2019年度第3四半期 業績予想(連結)
 1. 2019年度第3四半期 業績予想
 2. 営業利益増減分析
- 参考資料



総括・市場環境

代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

■ 2019年度第2四半期 業績

(金額単位：億円)

	2019年度 2Q予想	2019年度 2Q実績	増減
売上高	760	743	▲17
営業利益	145	137	▲8
経常利益	140	137	▲3
親会社株主に帰属する純利益	105	98	▲7
為替レート(円/US\$)	111.0	110.7	▲0.3

■ 2019年度第3四半期 業績予想

(金額単位：億円)

	2019年度 2Q実績	2019年度 3Q予想	増減
売上高	743	720	▲23
営業利益	137	80	▲57
経常利益	137	75	▲62
親会社株主に帰属する純利益	98	50	▲48
為替レート(円/US\$)	110.7	108.0	▲2.7

1-2. 配当

	第17期 (15/12)	第18期 (16/12)	第19期 (17/12)	第20期 (18/12)	第21期 (19/12)	
配当金 (円/株)	中間	10.0	5.0	10.0	30.0	25.0
	期末	10.0	5.0	18.0	32.0	未定
	年間	20.0	10.0	28.0	62.0	未定
配当金総額 (億円)	中間	29	14	29	87	73
	期末	29	14	52	93	未定
	年間	58	29	82	181	未定
連結配当性向 (%)	28.5%	44.5%	30.4%	31.0%	(注) 31.9%	

(注) 2019年度中間配当のみで表示

■ 2019年2Q実績

- ✓ 数量 ・300mm・200mmともに数量調整が始まる
- ✓ 価格 ・長期契約の価格は堅持

■ 2019年3Q見通し

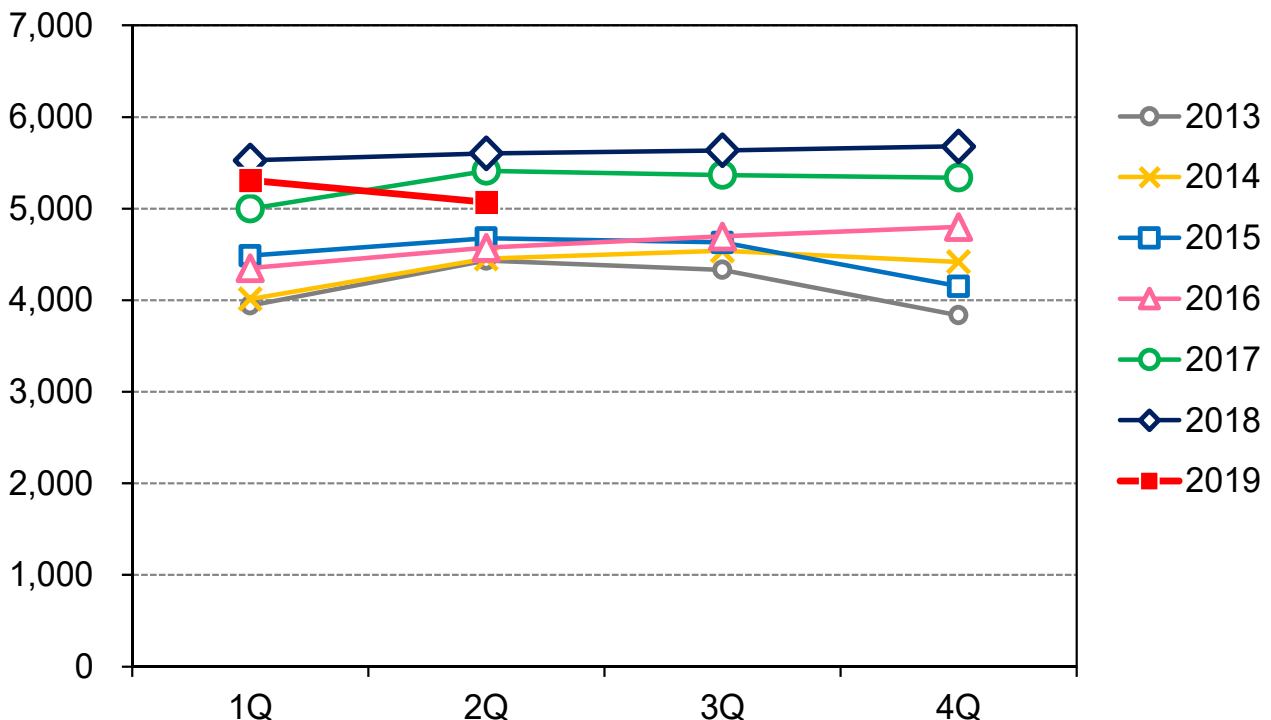
- ✓ 数量 ・300mmのロジック向けは初期想定よりはやや強含み
メモリー顧客のウェーハ在庫は改善が遅れ、数量調整が継続
- ・200mmでは、車載は自動運転・EVで堅調も、内燃向けは鈍化、産業・民生向けを含め全般的に軟調
- ✓ 価格 ・長期契約価格は堅持。市場は大半が長契で押さえられているが、残りのスポット品は軟調

■ 今後の見通し

- ✓ ロジック(特に先端品)は想定より早い回復を予想も、メモリーの調整は想定よりも長引く
- ✓ 米中貿易戦争による世界経済の低迷で、半導体産業の成長鈍化が懸念される
- ✓ ファーウェイ問題については、スマホ・5G基地局への影響が大きい
その結果、世界の5Gへの移行遅れが懸念される
- ✓ 韓国への輸出規制は、現時点ではウェーハへの直接影響はない

2-2. 200mmウェーハ季節変動(四半期毎)

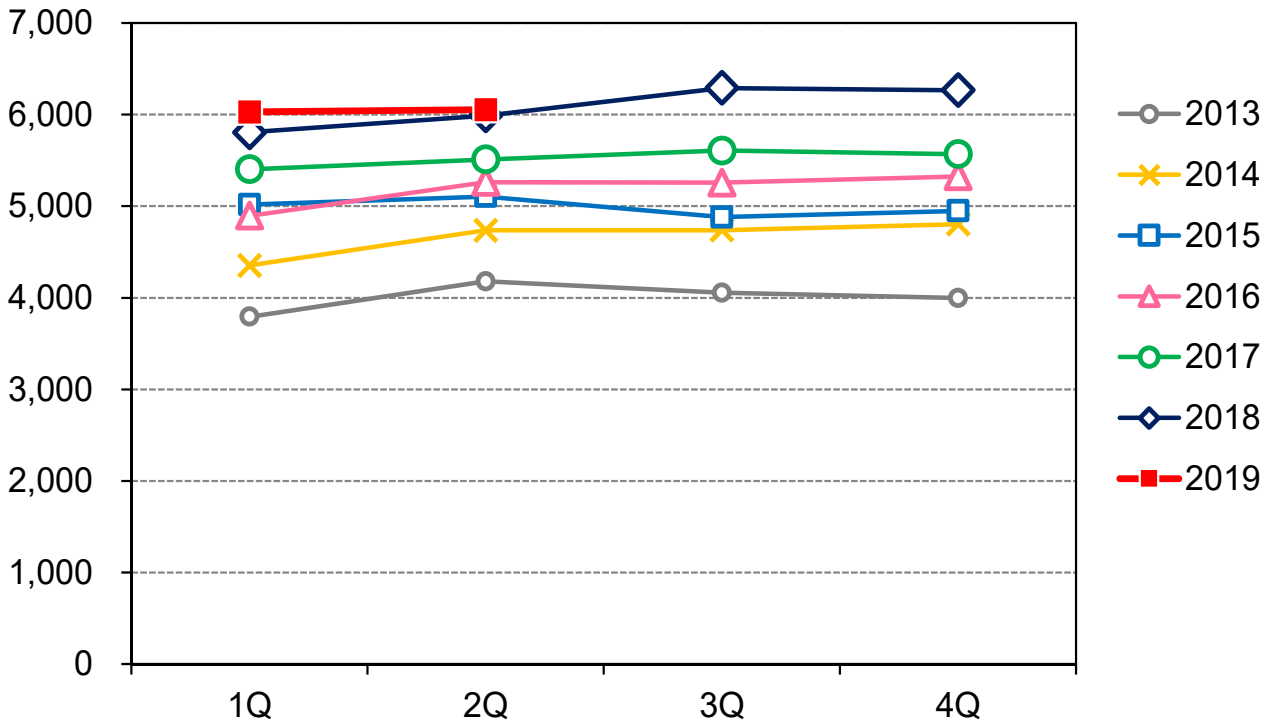
(千枚/月)



【出典:SUMCO推定】

2-3. 300mmウェーハ季節変動(四半期毎)

(千枚/月)

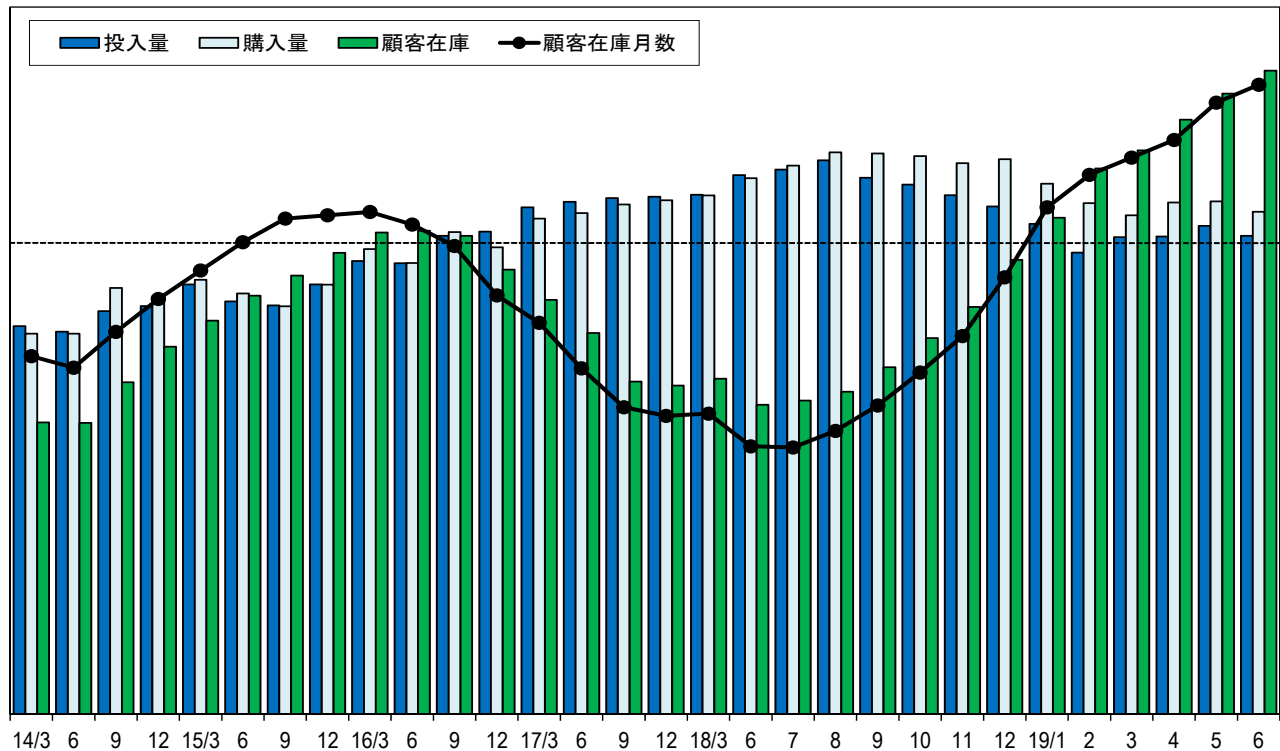


【出典:SUMCO推定】

2-4. 300mmウェーハ顧客在庫(推定)

数量(指数)

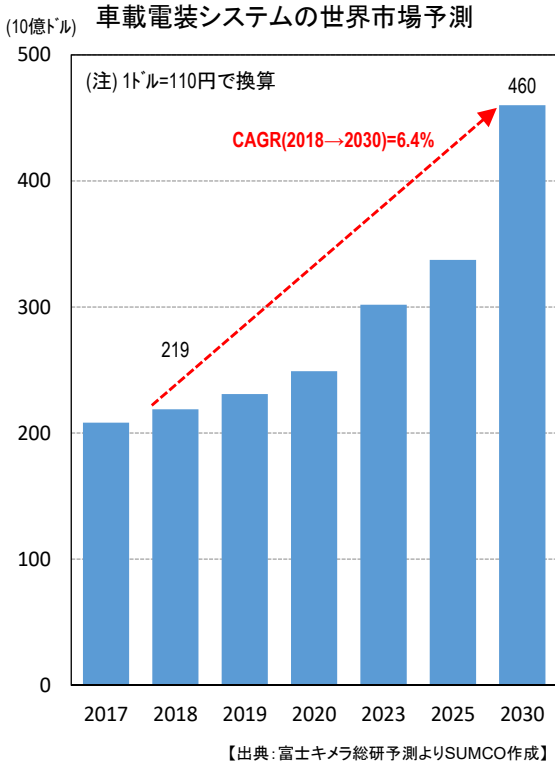
在庫月数(指数)



【出典:SUMCO推定】

3-1. 車載向け半導体需要予測

✓ 自動運転...2020年にレベル3(高速道路等での条件付自動化)実用化

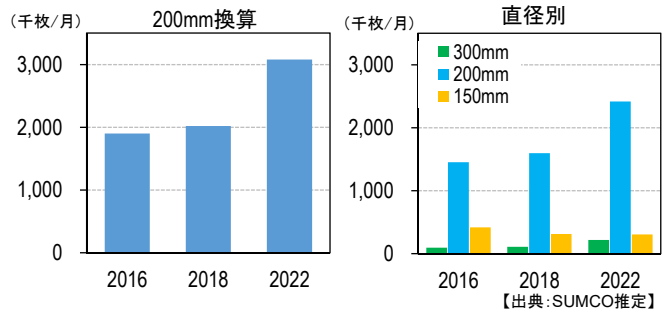


自動走行システム実用化ロードマップ(SAE J3016)

レベル	主体	達成時期
1	運転支援 人(単一機能を支援)	済
2	部分運転自動化 人(複数機能を支援)	済
3	条件付運転自動化 システム(緊急時は人)	2020年
4	高度運転自動化 システム(限定領域内)	2020-25年
5	完全運転自動化 システム	未定

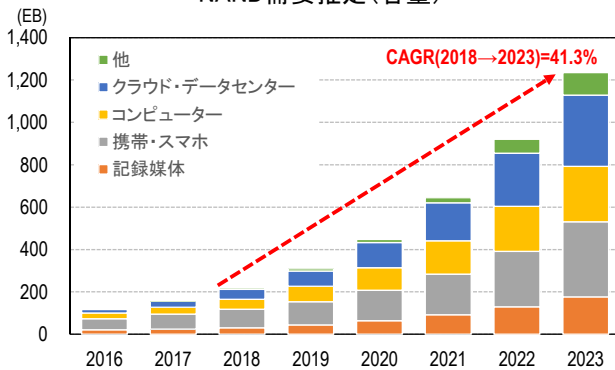
※2019.5.28に自動運転システムの使用に関する規定を新設した改正道路交通法が成立(目標:2020年に高速道路等の限定領域内でレベル3実用化)。

車載向けウェーハ需要予測



3-2. NAND容量需要予測と3D高層化

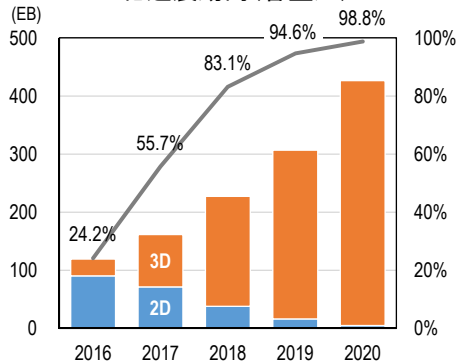
NAND需要推定(容量)



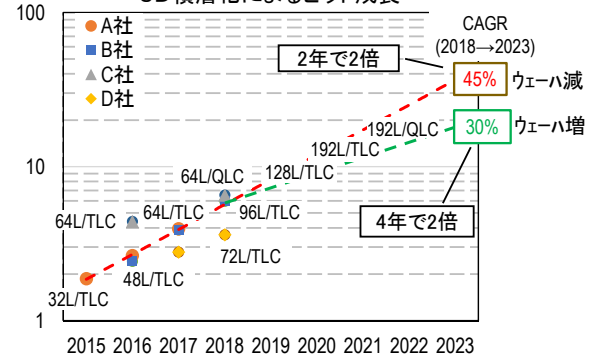
3D-NAND 量産技術の進展動向(積層技術)



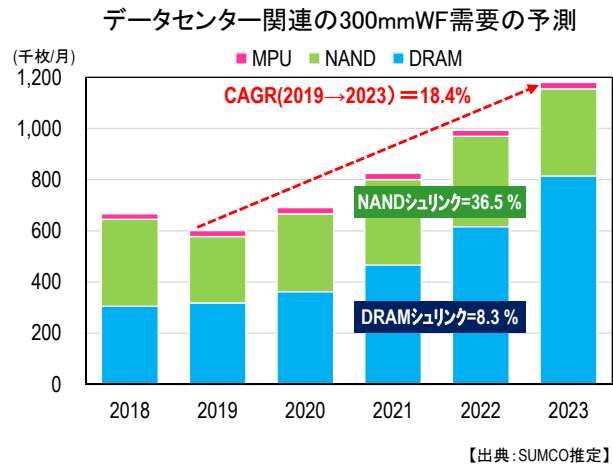
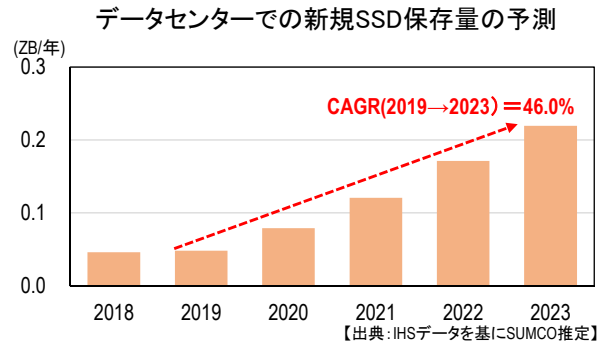
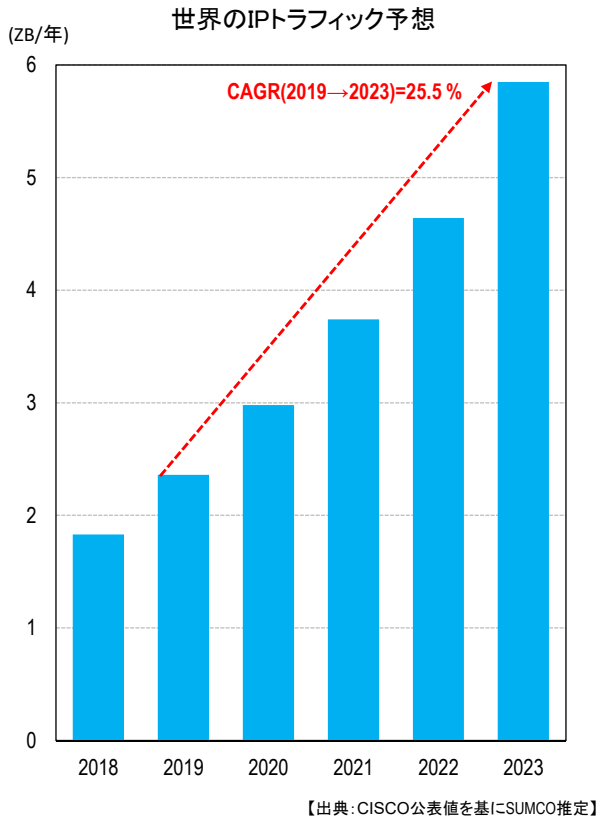
3D化進展動向(容量比)



3D積層化によるビット成長

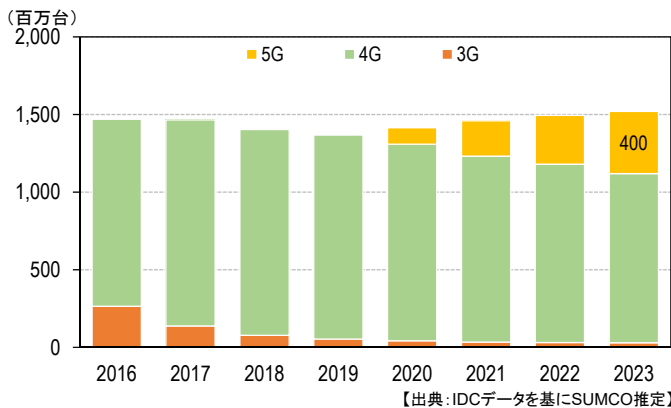


3-3. データセンター向けウェーハ需要予測



3-4. 5Gスマホ需要予測

(1) 5Gスマホ 普及予測



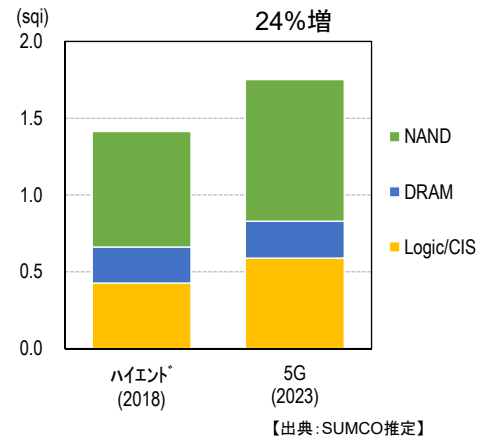
- ✓ 5Gスマホは2020年から増加し、2023年に4億台に到達
 - 高速・大容量通信
 - 4K高画質動画
 - 大容量保存領域

✓ 主要スペック推定

	Highend (2018)	5G (2023)	
DRAM (GB)	3-4	6-8	2X
NAND (GB)	64-128	512-1T	8X
Camera	2-3	3-5	2X
AP	6-8Core	8-10Core	

【出典: SUMCO推定】

(2) 1台当りSi面積



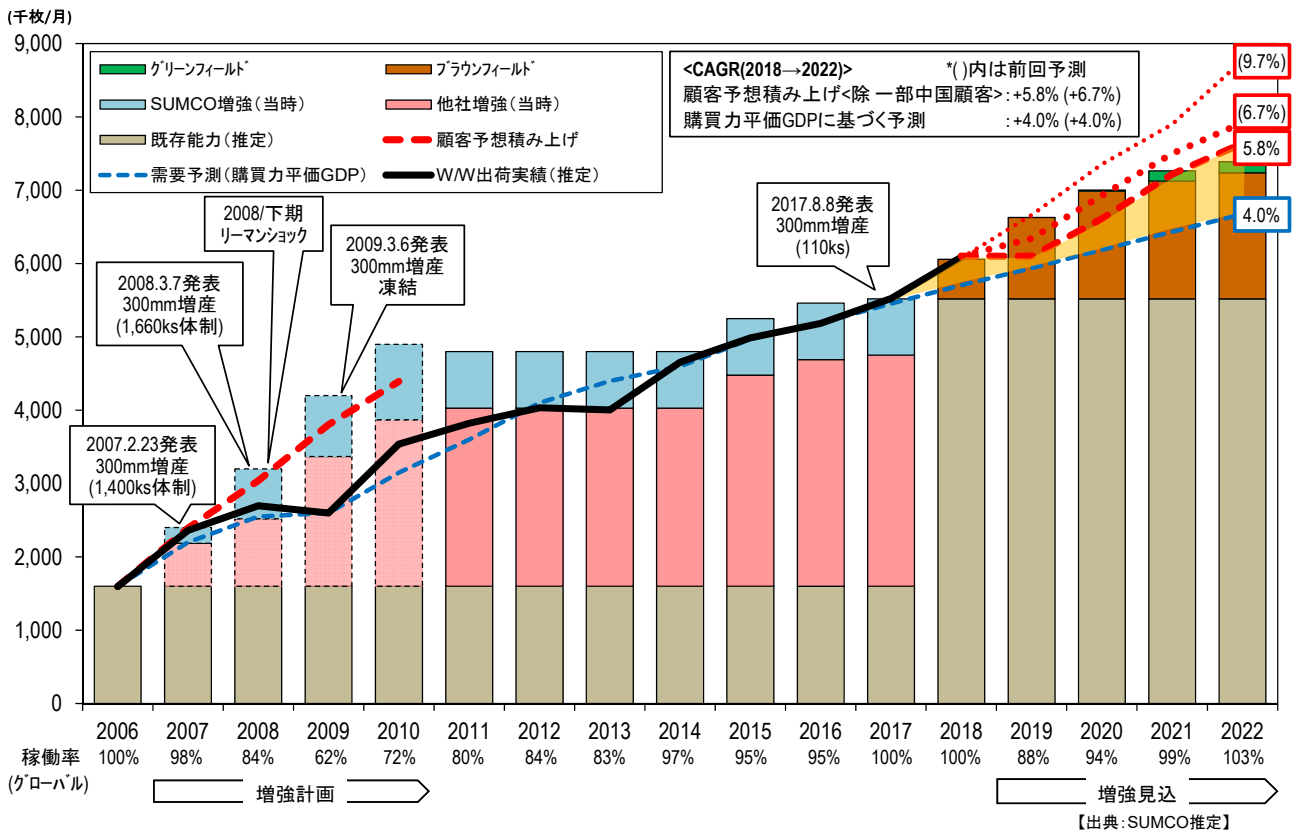
- ✓ ウェーハ必要量(300mm換算)

	千枚/月
ハイエンド(2018)	430
5G (2023)	533
増減	+103

(注) 4億台/年で試算

【出典: SUMCO推定】

3-5. 300mm需要と能力増強(推定)



2019年度第2四半期 決算概要(連結)

代表取締役 副会長
瀧井 道治

4-1. 2019年度第2四半期 業績(連結)

(金額単位：億円)

	2018年度	2019年度2Q実績			増減
	2Q累計	1Q	2Q	累計	
売上高	1,590	821	743	1,564	▲26
営業利益	411	198	137	335	▲76
営業外損益	▲11	▲8	0	▲8	+3
経常利益	400	190	137	327	▲73
特別損益	-	-	9	9	+9
法人税等	▲61	▲36	▲34	▲70	▲9
非支配株主に帰属する純利益	▲58	▲23	▲14	▲37	+21
親会社株主に帰属する純利益	281	131	98	229	▲52
設備投資額(検収ベース)	179	188	109	297	+118
減価償却費	125	86	102	188	+63
EBITDA (注1)	544	288	243	531	▲13
為替(円/US\$) (注2)	108.9	110.3	110.7	110.5	+1.6
営業利益率(%)	25.9%	24.1%	18.5%	21.4%	▲4.5%
EBITDAマージン(%)	34.3%	35.2%	32.7%	34.0%	▲0.3%
ROE(年率%)	22.4%	18.3%	13.4%	15.8%	▲6.6%
1株当たり純利益(円)	95.99	44.78	33.57	78.35	▲17.64

(注1) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

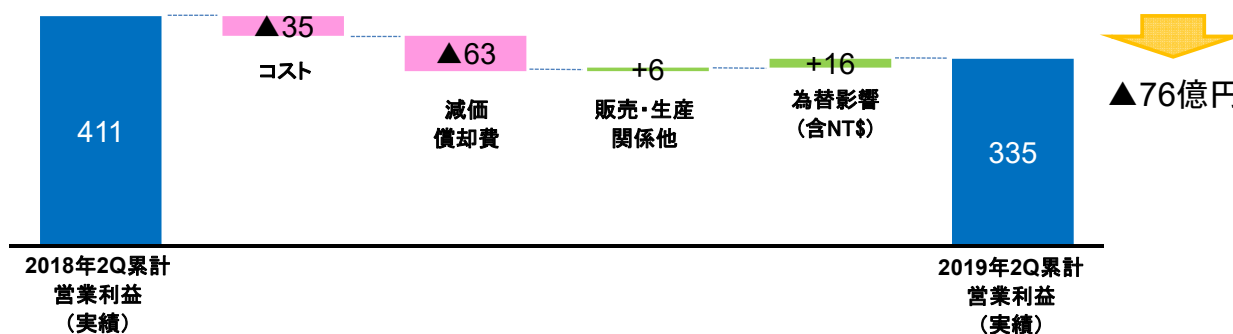
(注2) 為替感応度...米ドルに対し1円の円高で年間9-10億円の営業利益悪化

4-2. 営業利益増減分析(対前年同期)

(金額単位：億円)

	2018年度 2Q累計実績	2019年度 2Q累計実績	増減
売上高	1,590	1,564	▲26
営業利益	411	335	▲76
為替(円/US\$)	108.9	110.5	+1.6

【営業利益増減分析】

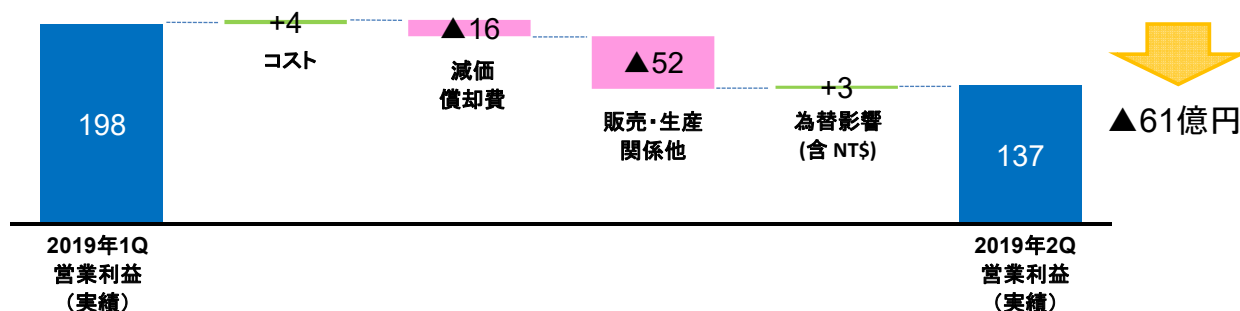


4-3. 営業利益増減分析(対前Q)

(金額単位: 億円)

	2019年度 1Q実績	2019年度 2Q実績	増減
売上高	821	743	▲78
営業利益	198	137	▲61
為替(円/US\$)	110.3	110.7	+0.4

【営業利益増減分析】



4-4. バランス・シート(連結)

(金額単位: 億円)

	2018年 12月末	2019年 6月末	増減
現預金等	789	717	▲72
製品・仕掛品	344	360	+16
原材料・貯蔵品	1,531	1,519	▲12
有形・無形固定資産	1,911	2,002	+91
繰延税金資産	151	128	▲23
その他	1,156	1,093	▲63
総資産	5,882	5,819	▲63
有利子負債	1,533	1,530	▲3
その他	1,094	960	▲134
負債	2,627	2,490	▲137
資本金	1,387	1,387	-
資本剰余金	307	307	-
利益剰余金	1,177	1,314	+137
その他	384	321	▲63
純資産	3,255	3,329	+74
自己資本比率	48.4%	51.0%	+2.6%
1株当たり純資産額(円)	971.8	1,012.2	+40.4
D/E レシオ(グロス)(倍)	0.54	0.52	▲0.02
D/E レシオ(ネット)(倍)	0.26	0.27	+0.01

(金額単位: 億円)

		2019年度 2Q累計
	税引前純利益	336
	減価償却費	188
	小計	524
	棚卸資産増減	2
	大阪チタニウム社との契約終了に伴う解約金	▲100
	その他	▲73
営業	キャッシュフロー	353
	設備投資(検収ベース)	▲297
	設備債務増減他	▲78
投資	キャッシュフロー	▲375
フリー	キャッシュフロー	▲22

2019年度第3四半期 業績予想(連結)

5-1. 2019年度第3四半期 業績予想(連結)

(金額単位：億円)

	2018年度 3Q累計 実績	2019年度3Q予想			累計	増減
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 予想		
売上高	2,424	821	743	720	2,284	▲140
営業利益	642	198	137	80	415	▲227
営業外損益	▲15	▲8	0	▲5	▲13	+2
経常利益	627	190	137	75	402	▲225
特別損益	▲8	-	9	-	9	+17
法人税等	▲103	▲36	▲34	▲20	▲90	+13
非支配株主に帰属する純利益	▲90	▲23	▲14	▲5	▲42	+48
親会社株主に帰属する純利益	426	131	98	50	279	▲147
為替(円/US\$) (注)	109.5	110.3	110.7	108.0	109.7	+0.2
営業利益率(%)	26.5%	24.1%	18.5%	11.1%	18.2%	▲8.3%
ROE(年率%)	22.2%	18.3%	13.4%	6.7%	12.8%	▲9.4%
1株当たり純利益(円)	145.47	44.78	33.57	16.78	95.13	▲50.34

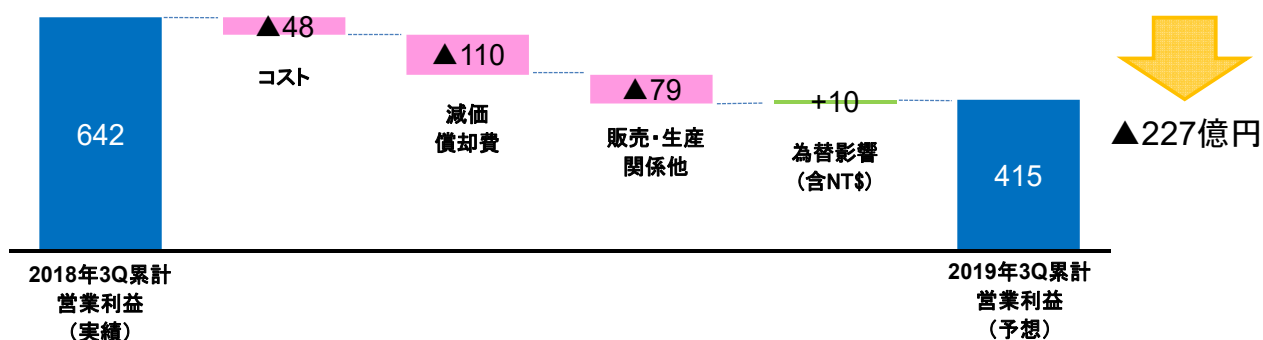
(注) 為替感応度...米ドルに対し1円の円高で年間9-10億円の営業利益悪化

5-2. 営業利益増減分析(対前年同期)

(金額単位：億円)

	2018年度 3Q累計実績	2019年度 3Q累計予想	増減
売上高	2,424	2,284	▲140
営業利益	642	415	▲227
為替(円/US\$)	109.5	109.7	+0.2

【営業利益増減分析】

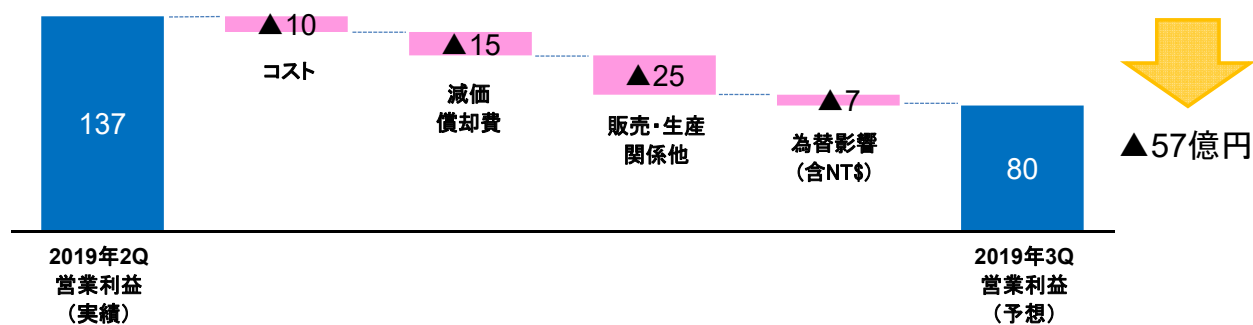


5-3. 營業利益増減分析(対前Q)

(金額単位: 億円)

	2019年度 2Q実績	2019年度 3Q予想	増減
売上高	743	720	▲23
営業利益	137	80	▲57
為替(円/US\$)	110.7	108.0	▲2.7

【営業利益増減分析】



参考資料

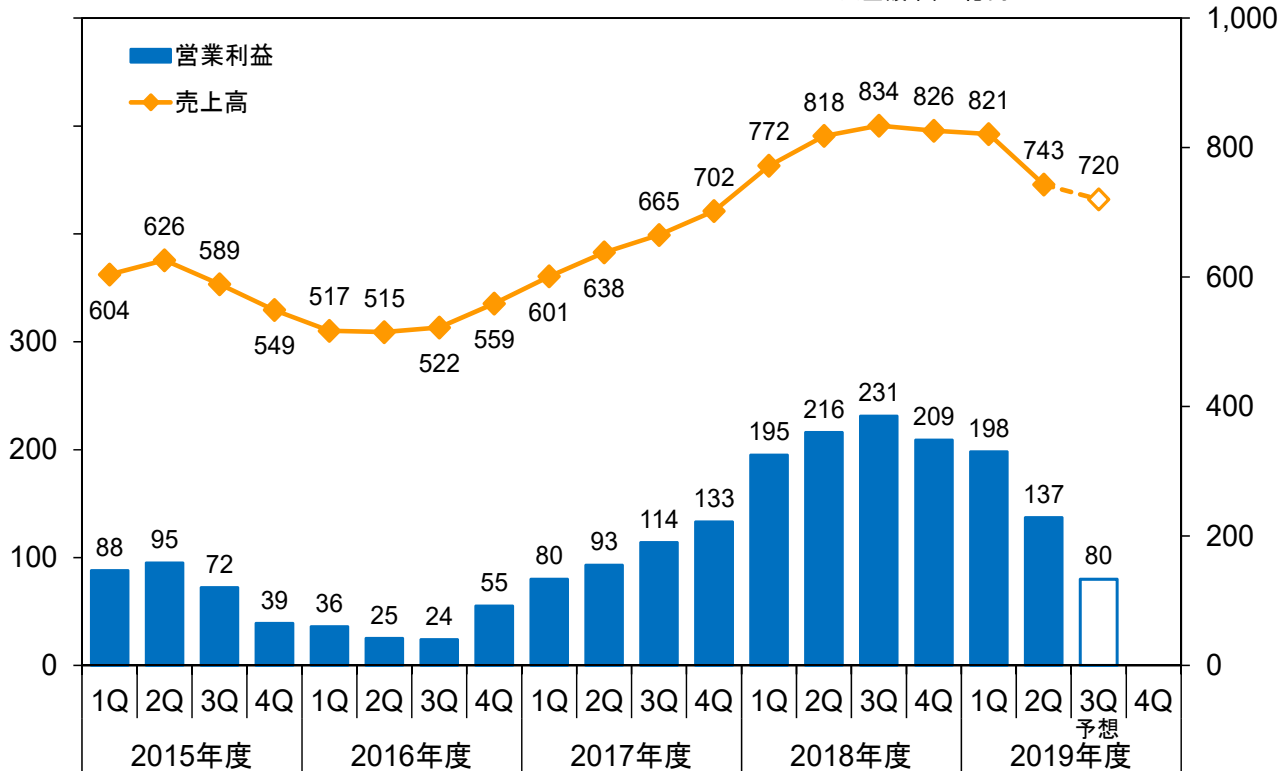
参考資料: 四半期業績推移



(営業利益)

※金額単位: 億円

(売上高)



SUMCO CORPORATION

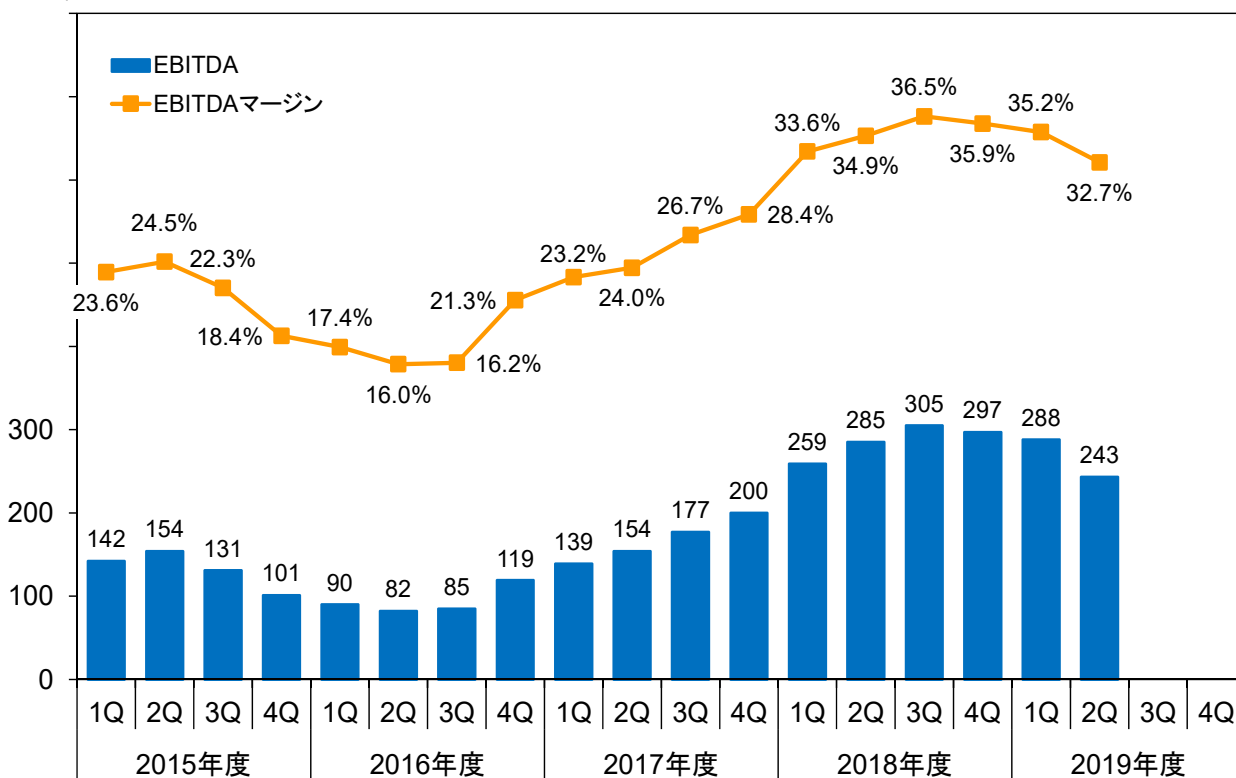
2Q-2019 Results
August 6, 2019

27

参考資料: EBITDA (償却前営業利益)



(億円)

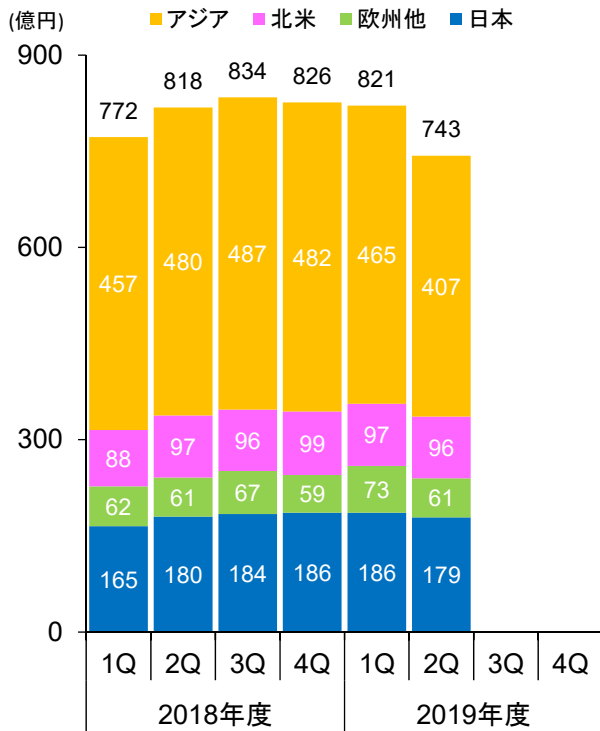


SUMCO CORPORATION

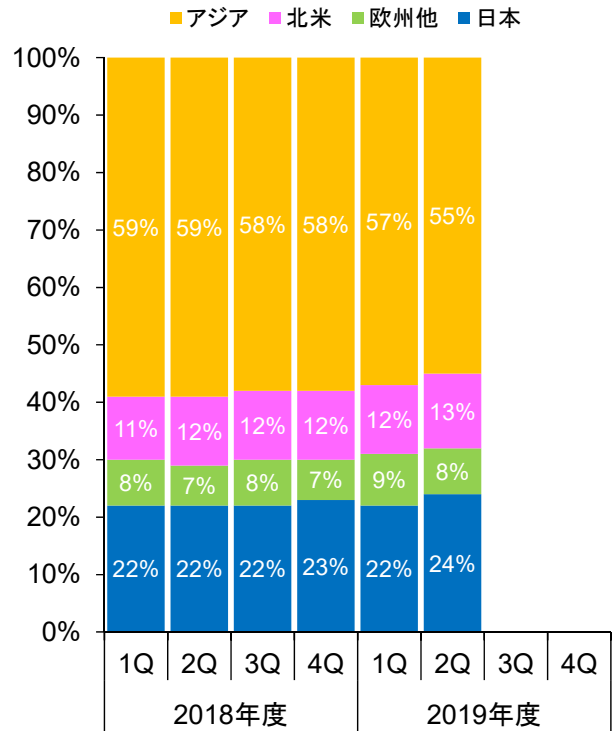
2Q-2019 Results
August 6, 2019

28

■ 地域別売上高



■ 地域別売上比率



URL <https://www.sumcosi.com/>